

各位

岩城製薬株式会社との COVID-19 治療薬の研究開発に向けた 共同研究契約締結のお知らせ

当社は、岩城製薬株式会社と COVID-19 に対する治療薬の探索研究を目的とした共同研究契約を締結しましたので、お知らせ致します。

本契約において、岩城製薬株式会社の優れた化合物合成技術と当社の AI-guided INTENDD® (人工知能を用いた化合物の活性予測システム) を融合することによって、高活性かつ経口投与可能な 3CLpro (main protease) 阻害化合物を効率よく選定し、COVID-19 患者の治療への貢献を目指します。本共同研究では、ドラッグリパーパシシングと創薬探索研究のアプローチを組み合わせ、合成難度の高い低分子化合物の短期間での最適化に取り組む計画です。

インタープロテインについて

インタープロテインは、二つの基盤技術「INTerprotein's Engine for New Drug Design (INTENDD®)/AI-guided INTENDD®」および「helix-loop-helix peptide (HLHP; 新規の基本構造を有する治療用ペプチド)」を用いて、蛋白質間相互作用 (PPI) やユビキチン-プロテアソーム系などのチャレンジングな創薬標的に対する創薬研究を行っています。これらの技術を活用することにより、インタープロテインは、広範囲の創薬標的に対する低分子またはペプチド阻害薬の同定を進めています。

岩城製薬について

イワキグループである岩城製薬のファインケミカル事業は、長年にわたり蓄積された多彩かつ高度な合成技術をもとに原薬および化成品 (ファインケミカル製品) の製造・販売を行っております。岩城製薬の高度な技術と品質に高い評価と信頼をいただいております、国内外の大手製薬メーカーのアウトソーシングに対応した受託製造も多く行っており、今後もさらにその技術力と信頼を高め、FDAの査察をクリアした設備を基にグローバルな原薬メーカーを目指してまいります。なお、岩城製薬のファインケミカル事業は、2021年6月1日のイワキグループの持株会社化により、CMC 研究開発を行うスペラファーマ株式会社の子会社であるスペラネクサス株式会社へ承継され、ファインケミカル事業として医薬品原薬のCMC 研究開発から製造・販売まで一貫した体制を構築する予定となっております。

以上

本件に関するお問い合わせ：

インタープロテイン株式会社
事業開発本部 小松 弘嗣
E-mail : info@interprotein.com